

国立情報学研究所 2019年度 教育研修事業

実務研修生募集



実務研修とは？

国立情報学研究所（NII）学術基盤推進部における On the Job Training（OJT）を通じて、大学図書館や情報センター等が推進する学術情報流通基盤整備の中心的役割を担う人材の育成を目的として、実施している研修です。



どんな条件で受講できるの？

- 対象者 大学・研究機関等において、図書館、電子計算機およびネットワーク等の業務に従事する職員
- 前提となる知識 学術情報流通基盤の構築、運用および管理等の概要を理解していること
- テーマ 学術情報流通基盤整備に関する課題の解決を目的とし、国立情報学研究所、派遣機関および研修生との間で協議の上決定します
- 期 間 数か月程度（3か月～1年以内で個別調整）
- 経 費 研修費及び教材費は無料とします
就業規則の適用、給与、諸手当、住居等に関する事項については、国立情報学研究所と派遣機関との間で協議の上決定します



申込みの流れは？

大学・研究機関等から国立情報学研究所へご連絡をいただき、研修生、研修期間、研修内容等について調整し、「国立情報学研究所実務研修推薦書」を提出いただきます。国立情報学研究所で推薦書の内容を確認し、受入決定通知文書をお送りします。その後双方で、「実務研修生の受入れに関する協定書」を締結し、研修を開始します。研修の開始までに相当のお時間をいただくことがありますので、お早めにご連絡ください。

受入先はどんなところ？

○ 学術基盤課

SINET, 学術認証基盤 (学認, UPKI証明書, 学認クラウド), セキュリティ基盤等の開発・運用を行っています。

○ 学術コンテンツ課

NACSIS-CAT/ILL, CiNii, KAKEN, 機関リポジトリ, ERDB-JP (国内電子リソース管理データベース) 等の開発・運用, SPARC Japanの活動や教育研修事業を行っています。

○ 図書館連携・協力室

JUSTICE (大学図書館コンソーシアム連合), JPCOAR (オープンアクセスリポジトリ推進協会) の事務局業務等を行っています。

○ オープンサイエンス基盤研究センター

学術論文や研究データなどを管理・公開・検索するための最新システムや研究データ管理のトレーニングコースの開発, それぞれのサービスの実運用に向けての準備を行っています。

どんな研修テーマがあるの？

研修テーマは, 研修生の希望をもとに, 国立情報学研究所, 派遣機関および研修生との間で協議の上で決定します。2015～2017年度の研修テーマは次のとおりです。

- 一橋大学
新任交渉担当者に対する支援ツールの作成 (図書館連携・協力室)
- 一橋大学
電子資料契約見直し事例に関する調査 (図書館連携・協力室)
- 筑波大学
電子リソースの利用統計の収集・管理および活用方法に関する調査 (図書館連携・協力室)

実務研修の活動事例

テーマに沿ったプログラムを自主的に組んでいただきます。もちろん, スタッフが研修期間を通してサポートします!



実務研修を経験した「先輩の声」

(2006年度に本研修を受講後, 現在学術コンテンツ課に勤務)

受入先: 図書館連携・協力室

- JUSTICE事務局業務
 - ・ 出版社との交渉・打合せへの出席
 - ・ JUSTICE関連行事の運営・参加
- 電子資料契約見直しに関する事例収集, 聞き取り調査
- 各種セミナーへの参加

実務研修では当時の次期SINETの構築方法を学びながら, 大学との調整業務を行いました。NIIは全国の大学等の機関に対してサービスを提供しており, 自分の努力した成果がそのサービスに反映されることにより, 全国の大学等の機関に還元されるため, 非常にやりがいがあります。

研修の成果は, ウェブサイトで初回 (2005年度) から公開しています。